

令和4 年度 協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～ 事業実施レポート



目次：

- (1) 国際理解って？
- (2) どんな事業
- (3) 小学校で
- (4) 中学校で
- (5) 事業実績
- (6) 先生方の声



(1) 国際理解って？

私たちの生活を振り返ると、海外との関係なしでは成り立たないことばかりです。

食品や燃料はもちろん、衣類・家電製品など、それらの原料や労働力は世界の国々・人々に支えられています。また、鹿児島に住む外国人の方も増えています。外国の人々やその国の現状を知ること、私たち自身を知ることでもあります。

国際理解とは、私たちの生活と世界がどのようにつながっているのかを知り、その中で世界が抱える課題を自分事として共有することではないでしょうか。

実際に外国で生活していた日本人の話や、鹿児島で生活している外国人の話を聞いて、一緒に世界のこと、日本のことを考えてみましょう。

協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～

(2) どんな事業?

この事業は、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会、青年海外協力隊鹿児島県 OB 会と（公財）鹿児島県国際交流協会の3団体で実施しており、県内小・中学校の希望に応じて年間約40校の小・中学校に、青年海外協力隊として活動していた帰国隊員や県内在住の留学生などの外国人の方を講師として派遣しています。派遣先の学校では、協力隊 OB による海外での活動体験の話や外国人の方による母国の紹介や交流により、国際協力・国際理解を学ぶことを目的にしています。

【海外協力隊経験者】



(派遣国：パプアニューギニア)

【留学生】



(ベトナム出身 鹿児島大学在籍)



(派遣国：ラオス)



(中国出身 鹿児島国際大学在籍)

授業の内容

協力隊OB – 国際協力・ボランティア・途上国の人々のくらしや文化（民族衣装，料理，民族楽器など）の紹介，青年海外協力隊の体験談，参加型のワークショップ（ゲームなど）

留学生等 – 母国のくらしや文化（民族衣装，料理，民族楽器など）の紹介，参加型のワークショップ（ゲームなど）を日本語で行います。



協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(3) 小学校で…

知らない国の、聞いたこともない嘘のような本当の話。インターネットの普及で、今日ではより簡単に、世界中の様々な情報が得られるようになりました。

しかし、多感な時期にある小学生にとって、教科書やテレビからの情報ではなく、直接、海外協力隊経験者の体験談を聞いたり、留学生と交流したりすることによる影響は大きく、改めて身の回りの環境や世界に目を向けるきっかけとなるようです。

このような出会いが、きっと新しい気付きや意欲的な学びへとつながるでしょう。



私も青年海外協力隊員になっていろいろな人を助けたいと思いました。
(生徒感想一部抜粋)



ベトナムの場所を説明する様子



南海日日新聞掲載 (R4.11.25)

日本ではお箸でご飯を食べるけどモルディブでは手でご飯を食べると知りびっくりしました。
(生徒感想一部抜粋)



モルディブについて紹介する様子



台湾語と日本語を比較し紹介する様子

さんはアフリカで野菜を育ててくれると聞いて、私もアフリカで野菜を育てたいです。お話を聞いて、私もアフリカで野菜を育てたいです。



協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(4) 中学校で…

国際協力について、自ら考え、実行に移すこともできる年齢の中学生。

時には講話だけでなく、ワークショップを通して課題を見つけ、解決に向けて主体的に考える力を育成するための授業も実施しています。

そろそろ進路についても考え始める感受性豊かな年代の彼らにとって、海外協力隊経験者が歩んできた道や、故郷を離れ日本で生活する留学生の話は、異文化理解としてだけでなく、自分の生活や将来について見つめなおすきっかけとなるようです。



青年海外協力隊について紹介する様子

世界の中には学校に行きたくてもいけない人がたくさんいることを知った。
自分の置かれている立場に感謝し、何かできることを探していきたい。
(生徒感想一部抜粋)

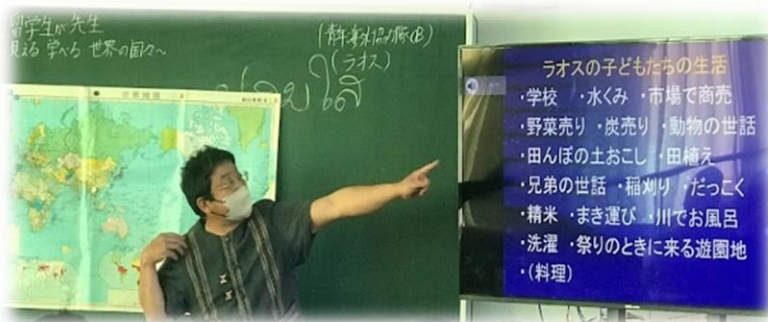


自国のあたりまえを他国の人に押し付けてはいけないという言葉が印象に残りました。
それぞれのあたりまえを尊重し、広く物事を考えられるようになりたいです。
(生徒感想一部抜粋)



ベトナムについて紹介する様子

手話の紹介をする様子



ラオスの子供たちについて紹介する様子

最初先生がラオス語で話をしたとき、全く理解ができませんでした。
しかしジェスチャーを交えて話すと少し伝え合うことができました。
お互いが頑張って理解しようという気持ちがあれば伝わるものだと思います。
(生徒感想一部抜粋)



(5) 事業実績

敬称略

教育事務所等	市町村名	学校名	OB	留学生
鹿児島市	鹿児島市	甲東中学校	桑山 昌洋 (ボツワナ)	-
		中州中学校		-
		谷山北中学校	宮田 瑠星 (ブラジル)	ジャン イーミン (中国)
		錦山中学校	仮屋 慶一 (モルディブ)	ド トゥイ アン (ベトナム)
		黒神中学校	仮屋 慶一 (モルディブ)	ド トゥイ アン (ベトナム)
		牟礼岡中学校	津平 由紀恵 (ガーナ)	グエン ティ トウ (ベトナム)
		鹿児島島	いちき串木野市	荒川小学校
日置市	伊作田小学校		仮屋 慶一 (モルディブ)	黄 敬蓉 (台湾)
日置市	永吉小学校		吉峰 明子 (ペルー・グアテマラ)	-
十島村	悪石島小・中学校		仮屋 慶一 (モルディブ)	グエン ティ ホアイ トゥーン (ベトナム)
いちき串木野市	生福小学校		深水 布由実 (マラウイ)	-
南薩	南さつま市	万世小学校	吉峰 明子 (ペルー・グアテマラ)	-
	枕崎市	枕崎中学校	近森 章 (ラオス)	-
	枕崎市	桜山小学校	仮屋 慶一 (モルディブ)	-
	枕崎市	桜山中学校	津平 由紀恵 (ガーナ)	レ ティ クエアン (ベトナム)
北薩	阿久根市	折多小学校	仮屋 慶一 (モルディブ)	-
	阿久根市	阿久根中学校	津平 由紀恵 (ガーナ)	-
	長島町	平尾小学校	仮屋 慶一 (モルディブ)	グエン ティ トウ (ベトナム)
	出水市	米ノ津中学校	本田 隆一 (トンガ)	-
	阿久根市	脇本小学校	近森 章 (ラオス)	黄 敬蓉 (台湾)
	出水市	江内小学校	本田 隆一 (トンガ)	-
始良伊佐	始良市	錦江小学校	仮屋 慶一 (モルディブ)	-
	霧島市	横川小学校	永山 俊介 (中国)	-
	霧島市	牧之原中学校 若駒分校	津平 由紀恵 (ガーナ)	ハン チチャン (中国)
	霧島市	国分西小学校	盛重 洋志 (ドミニカ)	バトバイル バトアマガラン (モンゴル)
	湧水町	吉松中学校	津平 由紀恵 (ガーナ)	-

大隅	錦江町	田代中学校	前原 無量 (スリランカ)	シン ジョンヒ (韓国)
	肝付町	国見中学校	津平 由紀恵 (ガーナ)	満 園 (中国)
	曾於市	高岡小学校	桑山 昌洋 (ボツワナ)	グエン ティ トウ (ベトナム)
熊毛	中種子町	増田小学校	肥後 朋子 (ネパール)	カバック メフメット アダル (トルコ)
	西之表市	古田小学校	塚田 拓 (コスタリカ)	-
	中種子町	星原小学校	塚田 拓 (コスタリカ)	-
	西之表市	種子島中学校	渡邊 里美 (ポリビア)	-
大島	龍郷町	赤徳小中学校	濱口 悠介 (ヨルダン)	ド トゥイ アン (ベトナム)
	徳之島町	亀徳小学校	塚田 拓 (コスタリカ)	-
	伊仙町	伊仙中学校	近森 章 (ラオス)	-
	大和村	大和小学校	濱口 悠介 (ヨルダン)	ジャン イーミン (中国)
	奄美市	住用中学校	濱口 悠介 (ヨルダン)	ジャン イーミン (中国)
	奄美市	朝日中学校	ンタラ 有矢乃 (ドミニカ共)	ジャン イーミン (中国)
私立	-	三育小学校	益田 寛子 (ブータン)	-

令和 4 年度実施：41 校
(25 市町村)



協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(6) 先生方の声 (一部抜粋)

【先生方が抱えている問題など】

- ❖ 交通の便が悪いため、国際交流イベントに興味があっても参加できない生徒がいる。
- ❖ 一部の国に対して偏見を持ってしまう児童がいる。国際理解教育の観点や差別的な観点からこのような場合どのように指導すべきか勉強していかなければならない。
- ❖ 学校内で学習をする場合、資料や教材が少なく、情報収集の手段に限られてしまう
- ❖ 実体験を語ることができる人材が校内にいないため、生徒たちに提供できる情報が少ない
- ❖ 国際理解についての教育をその時だけの学びにならないようにするためにはどうしたらよいか
- ❖ コロナ禍により、イベント参加や学校へ講師を招くことが難しい

【授業を終えて…】

- ❖ 実際に現地の衣装や物、お金に触れることができ、生徒にとって貴重な体験となったと思う。
- ❖ ほかの国の話だけではなくフェアトレードや SL (手話) の話もしてくださり、これまでの授業で学んでいたことがより深まった。
- ❖ 児童はもちろん教師にとっても初めて知ることが多くあり、貴重な体験となった。教科書だけではわからないことがたくさんあり、児童がほかの国を身近に感じる事ができたと思う。
- ❖ 講師の出身国や派遣国について事前学習に取り組んでいたこともあり、調べた中から疑問を持ったことについて講師に積極的に質問ができており、とてもよい機会となった



実行委員会構成団体



鹿児島県青年海外協力隊を支援する会
<http://www.kagojocv.com/>



青年海外協力隊鹿児島県 OB 会



公益財団法人鹿児島県国際交流協会
<https://www.kiaweb.or.jp>

「協力隊 OB と留学生が先生～見える・学べる・世界の国々～」事業 実行委員会

〒892-0816

鹿児島市山下町 14 番 50 号かごしま県民交流センター1 階 公益財団法人鹿児島県国際交流協会内

TEL : 099-221-6620 FAX : 099-221-6643 E-mail : kia@kiaweb.or.jp